

議会報告会報告書

開催日時	平成29年4月21日（金） 午後7時00分～8時30分	
開催場所	池上コミュニティセンター	
出席議員	代表者	はまのまさひろ
	報告者	加藤眞道（総務）、杉田惺（生環）、本石篤志（教福）、伊東雅之（都整）、青木秀介（観光）、大野忠之（100条）、嘉山淳平（給食）
	記録者	土田弘之宣（記録）、井口一彦（パソコン操作）
参加人数	12 名	
報告内容	<p>（質問・回答）</p> <p>Q 横須賀の一番の問題である人口減少に対してどう取り組んでいるのか。 A 都市イメージアップのために英語が学べるまちを子育て世代に対して進めている。市内在住の外国人宅にホームステイしたり、中高生対象のイングリッシュキャンプなど横須賀市民だからこそできることを行っている。また、全学校にALTを配置している。</p> <p>Q ふるさと納税はどうか。 A 手数料と寄付の比較でプラスに届いていない。他都市ではやめようと考えているところもある。</p> <p>Q 市民は市内の観光地にどのくらい行っているのか。 A 今現在データはないが、市民割など市民への情報発信を進めている。</p> <p>Q 教育のICT化はどうか。 A タブレット端末を導入した。液晶プロジェクターや実物投影機も順次配備される。今後電子黒板の導入ができればと考えている。</p> <p>Q 美術館、ソレイユの丘、芸術劇場の運営状況と、美術館の収支はどうか。 A 美術館は直営で、ソレイユの丘と芸術劇場は指定管理で運営している。美術館は教育施設のため、収益を前提とした運営は行っていない。</p> <p>Q 放課後子ども教室の設置基準はあるのか。 A 学校長、教員の同意が必要。学校長会と調整してようやく1校の試行が決まった。</p> <p>Q 学力向上の取り組みはどうか。 A 小学校2年生がターニングポイントのため、教員のバックアップを強化する。また、学校図書館の充実も行い学力アップに取り組んでいる。</p> <p>（意見・要望等） 「子どもが主役になれるまち」として、先進的なことを行って欲しい。 横須賀が抱える問題と、そのためにどんな予算をつけるのかという流れで説明して欲しい。</p>	

横須賀市議会議長 様

平成29年 4月25日

上記のとおり報告します。

代表者 はまのまさひろ